多摩美術大学校友会会報

alT

The alumni association of
Tama Art University

No.3 1997 Autumn

発行日：1997年11月15日
編集発行：多摩美術大学校友会事務局
〒158 東京都世田谷区上野毛3-15-34 多摩美術大学内
tel. 03-5758-7738
fax.03-5758-7739
E-mail yhq00670@niftyserve.or.jp

会報誌名「alT」（アルティ）は英文表記の The alumni association of Tama Art University を略して，創作した名称です。

● 記念講演会「広告と創造性」——東海林 隆
● 大学ニュース「多摩美術大学の改組について」——藤谷宣人
● 第3回定期総会議事録・会計報告
● 事務局だより／支部設立・活動ニュース／展覧会・画廊紹介

●第3回定期総会記念講演会

広告と創造性

株式会社博報堂　代表取締役社長
東海林 隆（S32グラフィック）

——創造性重視の社会——

創造性重視はどの企業でも目指しています。創造とは過去にとらわれない新しいものへの挑戦です。高度成長期は粒ぞろいが有利でした。今は粒違いが重視されています。創造性重視は，個性尊重なくしてあり得ません。NECの金子社長も先日こんなことを言っていました。「日本の集団主義は，QC(品質管理)サークル活動で，非常に大きなイノベーションをもたらした。情報化社会では，ソフトが大切です。ソフトを作ること自体が独創の世界で，独創は集団から生まれることはありません。個人主義のカルチャーは情報化にプラスです」と。個性尊重が謳われています。

今，あらゆるカテゴリーにおいて，No.1の商品やサービスだけが，有利に展開しています。No.2はまだいいとして，No.3以下はもう生きていけない危険を持っています。ただ，高度成長期と違って，ソフト化会社では量のNo.1だけがNo.1ではありません。個性を持った他に負けないものを持ったものが，No.1です。No.1はいくつもあると考えるべきです。クリエイティブの世界は，元々個性 （次ページへ）

（前ページから）

尊重です。粒ぞろいは何の役にも立ちません。粒違いが前提です。成長期の日本では，創造性重視の社会ではなかった。商品もサービスも欧米の後追いであった。創造型ではなく改良型だった。後発として先進国に追いつこうとすれば，それが最善だったとも言えます。しかし今，日本は世界のトップランナーになってしまいました。それに高度情報社会であり，創造性重視へ急展開せざるを得なくなりました。

日本の偏差値重視の教育は，粒ぞろいの優秀な人間を作り上げるのに，有利だったかもしれません。偏差値は，いわば左脳の教育です。左脳は言語を中心とした系統的論理思考をつかさどります。評価しやすい分野です。それに対して，右脳は感覚で考え，複雑な視覚パターンの認識や処理に優れています。今日お見えになっている方々は右脳派ばかりと存じますが，今の教育では右脳派は重要視されなかった。創造性重視の社会では左脳派と同じくらいに右脳派が重要だと思っています。これからの美術大学出身の人々が，社会の中枢で活躍しやすい社会になっていくことと信じています。

ちょっと横道にそれますが，世界的な短距離ランナーのカール・ルイスは，いくつも世界記録を作りました。素晴らしいランナーであることを誰も否定しません。カール・ルイスは人並みはずれた能力があることも確かです。

しかし，今日世界一になるには，個人の力だけでは不可能だと思います。カール・ルイスには走るためのコーチ，体力をつけるコーチ，心理的なコントロールをする先生，食事を考える人など沢山の専門的な人々の力の結晶が世界記録を作ったのです。ソウルオリンピックの時に履いたシューズは日本のミズノが作りました。それも，0.1秒でも，0.01秒でも速く走れるシューズのために多くの人々の労力と能力を費やしたことでしょう。

世界での勝負は常に高いレベルの戦いになっています。これはスポーツだけでなくすべてに言えることです。先ほど情報化社会は個人が大切と言いました。しかし，個人だけでは勝負に勝てない程，すべての事柄が高度化しています。ネットワークがいるのです。

一つの社会の中だけではありません。目的に合わせて，社内外，国の内外を問わず最高のネットワークを組むことが必要になっています。これは，企業レベルも同じです。それぞれ専門を持った企業が連携することが非常に多くなっています。資本によるネットワークではなく，知識や知恵のネットワークです。結果を最高にするためのネットワーク。それがこれからの勝負を決めそうです。集団による創造性。あるいは創造力をより高めるためには，集団パワーが必要です。21世紀にはこのネットワークパワーの競争になることは間違いありません。幸いコンピューターと通信の発達はネットワークを組みやすくしています。ただネットワークを組むためには，自らが何らかの優れた能力や情報発信力をもっていないとネットワークを組んでくれません。自らの得意な能力を最大にしていく，これがネットワーク社会では欠かせない必須要件です。

（平成9年6月1日・講演会より抜粋させていただきました）

多摩美術大学の改組について

藤谷宣人 多摩美術大学理事長

多摩美術大学は，美術教育の高水準の環境づくりを目指し，1971年以来東京都多摩ニュータウン計画域内に新キャンパスを建設してきました。さまざまな制度的法律的問題が横たわっていたため20年間延引していた宿願の西北隣接都有地の購入が1995年4月に実現したので，ただちに八王子キャンパスの大整備が急ピッチで開始され，現在，絵画棟・デザイン棟・彫刻工房群・工芸工房群・多目的ホールなどの校舎建設が続々と着工され，順次完成しています。また，LANなどの情報インフラストラクチャーも整備され，情報化された教育環境が実現いたします。2〜3年の内に，八王子キャンパスの景観は一新するものと思われます。

時を同じくして多摩美術大学は，これらの建設計画と連動して，教育内容の自己点検・自己評価をおこない，21世紀の美術教育を想定した，理想的な美術教育の学科構成について検討を重ねてきました。その結果，このたび次のとおり教育組織の改革を実施いたします。

美術学部については，新たに情報デザイン学科(設置認可申請中)を設置いたします。

また美術学部については，従来のクラフトデザインと陶芸を統合する工芸学科，従来のプロダクトデザインと染織デザインを統合する生産デザイン学科，従来の建築とインテリアを統合しさらにランドスケープを加える環境デザイン学科(それぞれ設置認可申請中)，従来のデザイン科を名称変更してグラフィックデザイン学科を設置いたします。また従来の絵画科・彫刻科は絵画学科・彫刻学科に名称変更いたします。

さらに大学院美術研究科については，絵画専攻・彫刻専攻・デザイン専攻に加えて，芸術学専攻(設置認可申請中)を設置いたします。大学院は1995年より社会人のための昼夜開講制を実施しております。

上野毛キャンパスの美術学部二部については，社会人教育の場としての更なる充実発展を図ります。

このようなハードウェアーおよびソフトウェアーの両面にわたる大改革のめざす所は，時代を先取りした優れた人材マンパワーの養成であります。

多摩美術大学は，造形芸術全般についての，広く高度な学理技能の教育研究をとおして，国際社会に対応する幅広い教養を身につけた人格の形成を図り，現代社会に貢献する優れた芸術家，また情報社会に貢献する優れたデザイナー，さらに教育研究者などを育成し，自由と人間性を基本とする，豊かな文化環境の形成に貢献するものであります。

21世紀の多摩美術大学は必ずや世界的な大学，国際的に高水準の美術大学に発展するものと確信いたします。

第3回定期総会議事録

日時：平成9年6月1日（日）午後2：30〜3：50
場所：多摩美術大学上野毛校舎 講堂

■開会の挨拶 司会者 弥永保子(S46染織)
■会長の挨拶 勝呂忠(S25油画)
■議長の選出 稲垣行一郎(S34平面)
「議決権資格者1,649名の内，出席者77名，委任状提出者615名で合計692名となります。よって会則21条に基づき，総会が成立したことをご報告します。」
■議長が議事進行を宣言

［議案第1号］平成8年度事業計画の報告
・渡辺達正事務局長(S45油画)より説明
「平成8年度に開催した理事会の内容は議案書の通りです。その他については
1. 11月17日，関西同窓会の設立（会長，事務局長，藤谷理事長が出席）
2. 卒業式，入学式出席（会長，副会長）
3. 会報「alT」No.2の編集，発行・新入生へ向けての「入会案内」の編集，発行
4. 平成8年度奨学金支給（会報にて報告済み）
5. 平成9年度奨学金制度の規定作成
6. Eメール開設
7. 校友会ロゴ入りテント寄贈（上野毛校舎，八王子校舎各1張り）
8. 校友会名簿編集
（アルバイトを採用し，卒業生のデータ入力中）
9. 多摩美術大学校友会展を企画中（現在作品登録は30名以上）
10. 技法書の編集（7月に書店発売）
11. 記念講演会の開催。
以上の通りです。」
■議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第1号は承認された。

［議案第2号］平成8年度決算報告
・金岡岩雄理事(S33油画)より説明
■会計監査報告
・堀友三郎理事(S20図案)より報告
「ただ今，平成8年度決算報告について金岡理事よりご報告がありました通り，通帳，その他全て間違いのないことを監査報告といたします。」
■議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第2号は承認された。

［議案第3号］平成9年度事業計画（案）
・渡辺達正事務局長より説明
・太田幸夫理事(S37平面)より校友会名簿について補足説明
「名簿の頁数は800頁，サイズはA4，厚さ4cm強で，来年の秋を目指して詰めていきます。内容としては冒頭に各1頁ずつ，会長，学長，理事長のご挨拶いただいた後，校友会会則，校友会役員名簿，旧教職員，現教職員を掲載したいと考えています。旧教職員の調査は大変困難を極める作業になるだろうと予測してますが，努力して内容をとりまとめたいと思います。その後に本学の沿革，これは本学が60周年を機に発行した名簿にも掲載されていますが，その後の情報内容を少し充実させたいと思います。幹事の名

簿を掲載した後，卒業生の住所を数百頁，最後に索引と広告20～30頁を予定しています。会員の名簿の中身は2種類あり，卒業生と一時在籍者に別れます。戦時中でやむなくの事情，その他いろいろありますが，名簿の取り扱いとしては一時在籍者は原則的に後半にまとめて載せることにせざるをえないと思います。しかも一時在籍者は全員ではなく会費納入者に限りますのでご了承下さい。広告の部分ですがこれは当然一般企業にDMの形で広告の依頼状を送付します。全て1色刷りで1頁10万円，1/2頁5万円，1/3頁3万円です。詳細になりますが，実務的な検索等の機能性をたかめるために全会員に会員ナンバーをふることにします。また，郵便番号も近々7桁になりますので早速対応していきます。もう1点，会費の納入額(全納，分納，なし)によってマーキングをしたいと考えています。本学の名簿は一部，成績順ですが校友会では現姓名の50音順に統一したいと思います。以上がポイントですので何かご意見あればうかがいたいと思います。」

・稲垣行一郎理事よりEメールについて補足説明

「この度，Eメールをニフティサーブで開設しました。将来のことを考えますと，これで良いか議論しなければならないのですが，時代の流れということで積極的にEメールを使って事務の簡素化等を検討していきたいと思っています。それに対するコミュニケーションが早く，的確に進むことも将来期待されます。」

■議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第3号は承認された。

［議案第4号］平成9年度予算(案)

・岡崎紀理事(S36油画)より説明(※平成9年度予算参照)

■議長が質問を受付けたが，質問はなく拍手多数によって議案第4号は承認された。

■後藤狷士多摩美術大学学長のご挨拶

■藤谷宣人多摩美術大学理事長のご挨拶

■会長より末松正樹顧問の訃報についてご報告

■議長が全議案の成立を報告し，第3回定期総会の終了宣言をした。

平成8年度収支計算書

(平成8年4月1日～平成9年3月31日)

●収入の部　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
会費収入	17,950,000	33,348,786	△15,398,786
名簿広告掲載料			
総会パーティー会費		315,000	△315,000
大学助成金			
利子収入		224,346	△224,346
雑収入			
奨学金基金		2,399,561	△2,399,561
当期収入合計	17,950,000	36,287,693	△18,337,693
前期繰越収支差額	5,728,699	5,728,699	0
収入合計	23,678,699	42,016,392	△18,337,693

●支出の部　(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
広報費	1,000,000	3,032,245	△2,032,245
新卒名簿作成費			
企画運営費			
総会費	600,000	298,216	301,784
芸術祭参加費	150,000	343,814	△193,814
会議費	480,000	34,140	445,860
理事活動費	500,000	166,353	333,647
交通費	600,000	257,210	342,790
交際費	200,000	180,215	19,785
備品・消耗品費	50,000	15,152	34,848
通信費	400,000	190,390	209,610
振替手数料	100,000	111,040	△11,040
事務局員給与			
奨学金	500,000	500,000	0
予備費	1,078,699	960,973	117,726
雑費	20,000	0	20,000
基本準備金	11,000,000	11,000,000	0
奨学金基金			
名簿作成準備金	5,000,000	5,000,000	0
特別事業費	2,000,000	2,000,000	0
顧問弁護士料			
会計士料			
前期末未払金			
当期支出合計	23,678,699	24,089,748	△411,049
当期収支差額	△5,728,699	12,197,945	△17,926,644
次期繰越収支差額	0	17,926,644	△17,926,644
支出合計	23,678,699	42,016,392	△18,337,693

平成9年度予算

(案)

●収入の部　(単位：円)

科目	予算額
会費収入	12,000,000
名簿広告掲載料	
総会パーティー会費	300,000
大学助成金	2,500,000
利子収入	100,000
雑収入	
奨学金基金	
当期収入合計	14,900,000
前期繰越収支差額	17,926,644
収入合計	32,826,644

支出の部　(単位：円)

科目	予算額	前年比
広報費	1,000,000	100%
新卒名簿作成費		
企画運営費		
総会費	1,000,000	167%
芸術祭参加費	150,000	100%
会議費	200,000	42%
理事活動費	400,000	80%
交通費	400,000	67%
交際費	200,000	100%
備品・消耗品費	1,500,000	3,000%
通信費	700,000	175%
振替手数料	150,000	150%
事務局員給与	1,000,000	−
奨学金	500,000	100%
予備費	3,000,000	278%
雑費	20,000	100%
基本準備金	10,000,000	91%
奨学金基金	2,399,561	−
名簿作成準備金	1,000,000	20%
特別事業費	1,000,000	50%
顧問弁護士料		
会計士料		
前期末未払金	1,600,620	−
当期支出合計	24,619,561	104%
当期収支差額	△9,719,561	
次期繰越収支差額	8,207,083	
支出合計	32,826,644	

基金積立

(単位：円)

科目	平成7年度	平成8年度	平成9年度	合計
基本準備金	9,000,000	11,000,000	10,000,000	30,000,000
奨学金基金			2,399,561	2,399,561
名簿出版準備金	4,000,000	5,000,000	1,000,000	10,000,000
特別事業費積立金	1,000,000	2,000,000	1,000,000	4,000,000
全基金積立額	14,000,000	18,000,000	14,399,561	46,399,561

事務局だより

■校友会奨学生に奨学金授与

平成9年度校友会奨学生

中垣裕輔　学部 染織デザイン4年(左から1人目)
大嶋暁子　大学院 デザイン1年(左から2人目)
盧莎　大学院 日本画1年(右から2人目)
徐旼廷　大学院 版画2年(右から1人目)
三宅流　二部芸術 映像3年(当日欠席のため顔写真)

平成9年度の奨学生公募は6月2日〜7月12日締切りで行われた。

今年から校友会独自の選考方法がとられることになり，学生には現在の制作構想あるいは研究プラン等のレポート提出を求めた。集められたレポートは理事会出席の全理事に目を通してもらい，慎重な審議を経て別記5名の諸君を決定した。今回の応募状況は準備期間を長くとったためか，集まったレポートは内容的に立派なコンセプトを持った記述が多く判定に苦慮した。5名以外の諸君にも甲乙つけがたいレポートが沢山あったことをここに記して来年再度の挑戦を望みたい。選ばれた5名のレポートは目立って，現在進行中の作品の完成度を高く求めた構想，あるいは将来への抱負など極めて意欲的な論述であった。今日のアートの仕事は，唯々描けば良いとするものではなく，様々のテクスチャーを用いた発言が要求されているように思う。21世紀を前にして，5名の若い目が新しい時代を充分に語ってくれることを期待している。

授与式には出席理事の見守る中，会長が一人一人に言葉をかけ奨学金を手渡した。留学生も含めた5名の学生からも，それぞれ誠意が述べられ終始和やかな雰囲気で最後に記念写真を撮った。

校友会会長 勝呂忠

■第4回定期総会のお知らせ

第4回定期総会を下記の日程で開催いたします。正会員(会費納入者)の方には詳細を4月にご案内いたしますのでぜひ，ご出席下さい。

日時：平成10年6月7日(日)12:00〜支部長懇談会
1:30〜幹事会
2:30〜第4回定期総会
4:00〜講演会
5:20〜懇親会

会場：多摩美術大学上野毛キャンパス

■「東京国際ミニプリント・トリエンナーレ1998」に協賛(予定)

応募期間：1998年1月10日〜4月15日
会期：1998年10月20日〜11月30日
会場：多摩美術大学附属美術館
主催：多摩美術大学
後援：外務省
文化庁
国際交流基金
町田市立国際版画美術館

1995年に多摩美術大学創立60周年記念事業として開始した，20×25cm以内のミニサイズ版画の国際公募展の第2回目です。これは3年毎に世界中からのオープン・コンペによって選ばれた現代版画の最新作を一堂に集めて展示・紹介するとともに，版画に使われる素材(紙・インクなど)と表現に関する学術的な研究資料のデータ収集もかねた目的で開催されます。簡易に郵送可能なサイズの版画作品について，世界各国からの参加を募ります。出品無料。大賞は300,000円(買取り賞)。校友会会員の方もふるってご参加下さい。

問い合せ先：〒192-03 東京都八王子市鑓水 2-1723
多摩美術大学附属美術館内
東京国際ミニプリント・トリエンナーレ事務局
Tel. 0426-79-5612
Fax.0426-79-5641
E-mail: timpt@tamabi.ac.jp

※校友会ではこの第2回東京国際ミニプリント・トリエンナーレへの協賛を予定しています。今後も詳細な情報をお知らせしていきます。

■技法書「淡彩画入門〜身近なモチーフを描く」
多摩美術大学校友会編を誠文堂新光社より発刊

竹中直人さん(S55グラフィック)に実際に淡彩画を描いていただいたページも盛り込み実用的でやさしい内容に仕上っています。この本の収益は全て奨学金基金にいたしますので，卒業生の皆さんにも指導書としてなどいろいろな用途でお求めいただければ幸いです。

■「校友会室ができました」

平成9年9月，上野毛キャンパス2号館1階に校友会室(事務室・小会議室)ができ，それに伴い直通の電話番号，ファクシミリ番号が変わりました。また，6月よりEメールも開設しましたのでご利用下さい。

電話番号(直通)　03-5758-7738
FAX番号　03-5758-7739
E-mail: yhq00670@niftyserve.or.jp

■「住所変更届けは校友会へ」

平成10年10月末に初版の校友会名簿を発行する予定です。住所変更された方は同封のはがきで校友会事務局へお知らせ下さい。同級生，先輩，後輩の情報もお待ちしています。

■訃報

校友会顧問の末松正樹名誉教授が平成9年4月28日，ご逝去されました。生前はご多忙の中，校友会懇親会などにご出席いただきました。謹んで哀悼の意を表し，ご冥福をお祈りいたします。

支部設立ニュース

この1年間で3つの校友会支部が設立されました。各都道府県在住の卒業生主催の設立総会には多摩美術大学藤谷宣人理事長，校友会勝呂忠会長，校友会渡辺達正事務局長にもご出席いただきなごやかに開催されました。懇親会，展覧会なども同時に開催するなど，今後も積極的な活動が期待されます。現在，11支部が設立されています。支部活動に参加希望の方は校友会事務局までお問い合わせ下さい。

■関西支部「多摩美術大学同窓会関西」設立

平成8年11月17日，兵庫，大阪，京都，奈良，和歌山，滋賀に在住の卒業生が合同で第1回設立総会，懇親会を梅田阪急グランドビル27階・グランド白楽天にて開催し，関西支部が設立されました。

支部長・澤田欣也(S39プロダクト)
事務局・田和潤子(S42グラフィック)

■千葉支部「千葉多摩美会」設立

平成9年5月10日，ホール椿(JR西千葉下車)にて校友会千葉支部設立総会、懇親会を開催し，千葉支部が設立されました。

支部長・齊藤惇　(S23日本画)
事務局・神谷紀雄(S38彫刻)

■栃木支部設立

平成9年8月23日，宇都宮上野百貨店7階レストラングラナリーにて総会，懇親会，設立記念展を開催し，栃木支部が設立されました。

支部長・市川六(S28油画)
事務局・赤羽薫(S49油画)

支部活動ニュース

■［予告］「第3回 ART NOW展」
広島支部主催
平成9年12月23日～27日
広島県立美術館県民ギャラリー第3展示室
　今回は，懐かしき大学祭のノリと実験的要素の高い作品などで構成し，広島多摩美会を中心に全国の多摩美術大学OBおよび関係者有志による作品展を開催します。

■［予告］「多摩教育の会・新春の集い」
校友会・多摩教育の会主催
平成10年1月15日・本学上野毛キャンパス
毎年恒例の多摩教育の会の総会，研究会，懇親会を開催します。講演会は校友会会長の勝呂忠氏の予定です。

■［報告］「神奈川多摩美会展」
神奈川県在住卒業生有志主催
平成8年12月9日～15日
横浜「本町画廊」
　支部としては正式に発足していませんが，神奈川県在住の卒業生有志35名による展覧会が開催されました。

■［報告］「第3回実技研修会」
校友会・多摩教育の会主催
平成9年8月1日～2日
本学八王子キャンパス版画教室

　版画科小作青史教授，渡辺達正教授のご指導により「ベニヤ板を使ったリトグラフ」「色紙に銅版画を刷る」をテーマに版画を制作しました。

■「国宝・臼杵石仏と豊の国が生んだアーチストを訪ねて～1泊旅行」
福岡支部・佐賀支部・大分県在住卒業生有志主催
平成9年9月14日
別府温泉宿泊
　昨年は福岡支部，佐賀支部合同による交流会，今年は大分県を含んでさらに盛大に開催し，藤谷宣人理事長にもご参加いただきました。

展覧会・画廊紹介

■電通恒産画廊
「奥野健男と多摩美の作家たち」展
〒104 東京都中央区銀座 6-5-1 みゆき共同ビル地階
Tel. 03-3574-2777
Fax.03-3572-3888
　文芸，音楽，芸術など幅広い評論活動をされる奥野健男先生が教鞭をとられた多摩美術大学を今春，退職されました。これを機会に先生の永年の夢であった「奥野健男と多摩美の作家たち」展が企画され平成9年11月11日～23日まで電通恒産画廊に於て開催されます。今展には加山又造，池田龍雄，関根伸夫，深澤幸雄，大橋歩，川辺美佳など各ジャンルに至る44名の指導的アーティストの近作が一堂に展示され，希有な展覧となることは必定です。
　当画廊は昨年10月1日にオープン以来，30件に及ぶ展覧会に活用されましたが，地下鉄銀座駅から3分というアクセスの良さと，絶好のロケーションに恵まれ，更に展示し易いスペースとシンプルな内装と充実した設備によってご利用いただいたアーティストのみならず，ご来廊の多くの愛好家から高い評価を得ております。この記念すべき展覧会の開催は更に一層の話題を呼ぶことでしょう。

■ギャラリーモテキ
〒104 東京都中央区銀座 7-10-12 第2柳屋ビル4F
Tel.03-3572-5193
　当画廊は貸画廊として20年になります。これからも多摩美術大学校友会会員の方々と新しい出会いが出来ますことを望み，特別料金を設け，作家活動を応援いたします。画廊空間を是非一度，見にお越し下さい。
画廊空間面積35㎡・壁面20m・天井高さ2.45m
6日間単位（月～土）・使用時間11:00～19:00
使用料金6日間20万円（通常27万円）